

第9回 広域系統整備委員会コスト等検証小委員会 議事要旨

日時 2018年12月20日(木) 13:30~14:40

場所 電力広域的運営推進機関 豊洲事務所B、C会議室

出席者

<委員>

加藤 政一 委員長(東京電機大学 工学部電気電子工学科 教授)
田中 誠 委員(政策研究大学院大学 教授)
新里 智弘 委員(公認会計士)
洞口 明史 委員(東海旅客鉄道(株) 建設工事部 担当部長)
木戸 啓人 委員(九州電力(株) 送配電カンパニー 技術計画部長)
竹島 尚弘 委員(関西電力(株) 送配電カンパニー 工務部長)

<オブザーバー>

【事業実施主体】

伊藤 康雄 (電源開発(株) 流通システム部 流通計画室 室長代理)
小竹 昇 (電源開発(株) 資材調達部 委託・請負業務室 室長)

(以上 敬称略)

配布資料

- (資料1) 東京中部間連系設備及び東北東京間連系線に係る広域系統整備計画
「送電工事」の予報発注前段階での検証
- (資料2) 「東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画」
送電線新設・増強工事 調達プロセスについて (電源開発)
- (資料3) 東京中部間連系設備及び東北東京間連系線に係る広域系統整備計画
「送電工事」の予報発注前段階での広域機関における検証

議題 1. 東京中部間連系設備及び東北東京間連系線に係る広域系統整備計画「送電工事」の 予報発注前段階での検証

- ・加藤委員長より、本小委員会のミッションは、「合理的かつ適正な価格で調達していることを検証すること」との発言があった。
- ・事務局から資料 1 により、東京中部間連系設備及び東北東京間連系線に係る広域系統整備計画の送電工事について、予報発注前段階での検証において確認すべき事項について説明があった。
- ・東京中部間連系設備の事業実施主体であるオプザーバーの電源開発から資料 2 により、送電工事の予報発注前段階における発注方式、コスト低減方策について説明があった。
- ・事務局から資料 3 により、予報発注前段階での検証における論点、検証結果について説明があった。

(主な意見、質疑等)

- ・送電工事の請負工事について、予報発注時における競争環境の構築等に関する質疑があり、オプザーバーより具体的な説明があった。

第 8 回コスト等検証小委員会で審議した東北電力と東京電力 P G の予報発注前段階での検証に加え、再度確認することとしていた電源開発の送電工事の発注方式、調達プロセスにおけるコスト低減方策についても、今回で概ね委員の了解が得られた。

このため、今回の検証結果を踏まえ、予報発注の手続きを開始することとした。

また、今後の発注手続きにあたっては、更なるコスト低減を図るとともに、工事の円滑、着実な実施に向け取り組むこととした。

以上